

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 折尾東 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

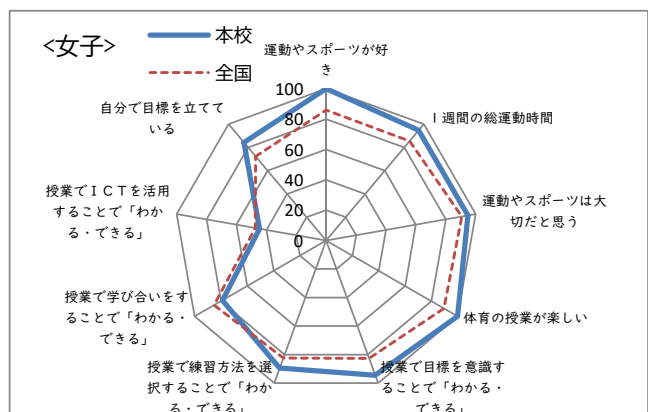
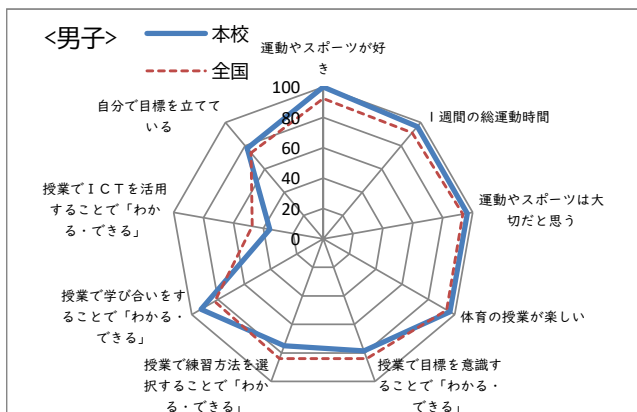
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
本校全国平均以上の種目	○				○				

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
本校全国平均以上の種目	○	○			○				

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- ・今年度は「運動やスポーツが好きだ」と思う児童の割合が男女共に高い。これまでの取組で、運動好きな子どもを増やすことができたと考えられる。しかし、自分なりの目標を立てたり、自分で練習を工夫したりする主体的な学びが苦手である。そのため、自分の好きな運動が中心で、苦手な動きを練習しない傾向が見られる。
- ・今後はICTを活用する体育科の学習を教師が工夫していく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- ・現在、授業の始めにサーキットトレーニングを行うようになっているのだが、感染症対策のためと、運動量を確保するために、実践ができていく状況にある。そのトレーニングを、感染症対策をしながら、学年で児童の実態に合わせて学期ごとに改善し、児童の体力向上に繋げていく。
- ・「おりひがスポーツデー」で、各学年でダンスに取り組み、男女共に表現することの楽しさにふれさせていく。
- ・ICTを活用して、自分の動きを自分で確認できるように工夫して、動きの質が向上していくように努めたい。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

- ・サーキットトレーニングを継続していくことと、多様な運動に慣れる取り組みを今後も続けていく。
- ・学校通信（おりひがっこ）や学年通信等で運動の習慣がつくように啓発していく。
- ・県のスポコン広場のランキングに登録することで、記録の伸びに着目し運動を継続するよう促したい。